



# 令和7年の素形材産業年報

## 特集企画趣旨

本誌では、毎年5月号を前年のわが国の素形材産業、素形材技術・研究開発、関連学協会・工業会の動向等をまとめた「素形材産業年報」特集としております。

今回も例年同様に、鑄造、鍛造、プレス加工、粉末冶金、型、金属熱処理、工業炉、付加製造（AM）、エンジニアリングプラスチック、ファインセラミックスの10分野を取り上げ、令和7年の諸動向を掲載しております。執筆には各分野の専門家や研究者、関連学協会・工業会等の多くの方々のご協力を得ており、厚くお礼申し上げます。

今回は令和7年における諸活動を対象としておりますが、この1年間は前年に続き世界で混乱が続いた年でした。一向に収束に向かわないロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナの紛争も継続し、イランの動きも中東地域の不安定化を危惧させており、また米国トランプ大統領の強引とも言える関税賦課等の米国中心の経済政策の実施等により、今後の更なる世界経済の混乱が懸念される事態となっています。

今年こそ午の年にあやかって経済が跳躍的發展に向かうことを願うばかりですが、このような中でも製造業の基盤を担う素形材産業には、引き続き開発力の強化、生産性の向上等に努め一層の体質強化を図ることが求められています。

本特集に収められた各分野での報告内容が、その為の一助となりますことを期待しております。

編集委員長 杉上 孝二